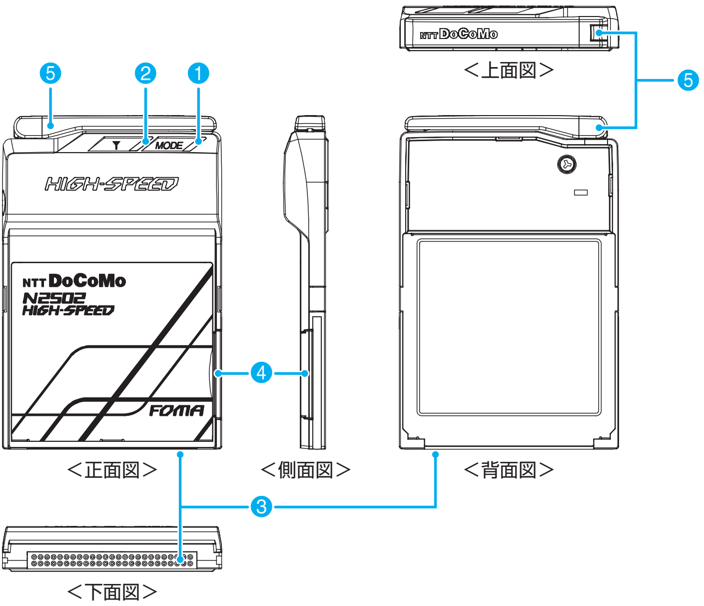
ご使用前の確認

各部の名称と機能 14
FOMAカードについて 16
FOMA端末から利用できる通信について 17
FOMA端末をパソコンに接続する 19
FOMA端末をPDAに接続する 21

各部の名称と機能



❶ **モードランプ**
- FOMA端末の状態などを表示します。→P.15

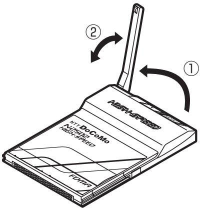
❷ **アンテナランプ**
- 電波の状態などを表示します。→P.15

❸ **コンパクトフラッシュコネクタ**
- パソコンあるいはPCカードアダプタとの接続端子です。→P.19

❹ **FOMAカードトレイ**
- FOMAカードの取り付け、取り外しに使用します。→P.16

❺ **可動アンテナ**
- よりよい条件で通信するために、立てた状態で使用することをおすすめします。

<通信するときは>



<持ち運ぶときは>

ランプ表示について

❶ モードランプ

FOMA端末の状態		モードランプ
電源OFF／待ち受け中		消灯
パケット通信	発着信中	緑（点滅A）
	通信中※	緑（点灯）
64Kデータ通信	発着信中	オレンジ（点滅A）
	通信中※	オレンジ（点灯）
テレビ電話通信	発着信中	オレンジ（点滅A）
	通信中※	オレンジ（点灯）
発信規制中		赤（発信動作時に2秒間点灯）

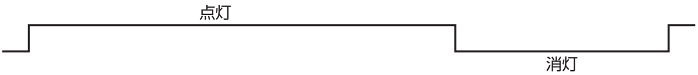
※：省電力モードに設定している場合、発着信中の点滅動作のみとなり通信中は点灯しません。→『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書』P.43

❷ アンテナランプ

FOMA端末の状態			アンテナランプ
電源OFF			消灯
電波状態※	FOMAハイスピードエリア	アンテナ3本	緑（点灯）
		アンテナ2本	緑（点滅B）
		アンテナ1本／0本	緑（点滅C）
	FOMAエリア	アンテナ3本	オレンジ（点灯）
		アンテナ2本	オレンジ（点滅B）
		アンテナ1本／0本	オレンジ（点滅C）
	圏外		赤（点灯）
PIN1コード／PINロック解除コード入力待ち PIN完全ロック、FOMAカード未挿入、FOMAカードエラー、FOMAカード以外のUIMカードを挿入			赤（点滅C）

※：省電力モードに設定している場合、電波状態は点灯しません。→『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書』P.43

■点滅のパターン

パターン	光りかた
点滅A	約0.75秒高速点滅／約0.25秒消灯を繰り返す
点滅B	約2秒点灯／約1秒消灯を繰り返す 
点滅C	約1秒間隔で点灯／消灯を繰り返す

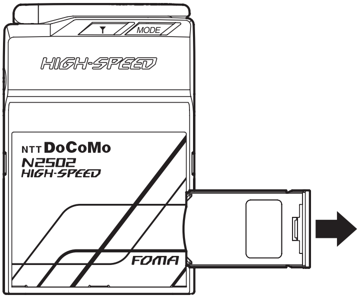
FOMAカードについて

FOMAカードは、電話番号などお客様の情報が記録されているICカードで、FOMA端末に取り付けないと、データ通信やテレビ電話などを利用できません。FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

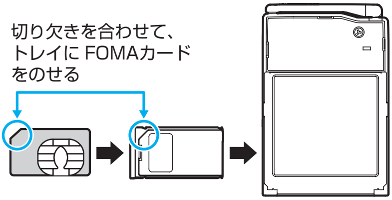
FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

● 取り付けかた

1 FOMA端末を正面にして、矢印の方向にFOMAカードトレイを引き出す



2 FOMA端末を裏側にしてFOMAカードトレイを取り外し、FOMAカードをのせたトレイを図のような向きで差し込む



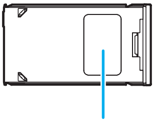
3 FOMAカードトレイを奥まで押し込む

「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

● 取り外しかた

1 「取り付けかた」の操作1に従ってFOMAカードトレイを引き出し、取り外す

2 取り外したFOMAカードトレイの穴からFOMAカードを押して取り外す



おしらせ

- 手に持った状態で、操作手順に従って正しく取り付け／取り外しを行ってください。無理に取り付けようとしたり、取り外そうとすると、FOMAカードが破損する場合があります。
- FOMAカードのIC部分に触れたり、傷を付けたりしないようにご注意ください。
- 取り外したFOMAカードやFOMAカードトレイは、なくさないようにご注意ください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号があり、ご契約時は「0000」に設定されています。
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMA端末の電源を入れるたび、使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号です。
PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請（FirstPass利用時）を行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号です。

お客様のFOMAカードがPIN1コードを照合する設定になっている場合は、そのままデータ通信をすることができません。FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティを起動して、PIN1コードを照合してから利用するか、あらかじめFOMAカードの設定を、PIN1コードを照合しない設定（『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書』P.41）にしてから利用してください。

■PIN1コードの変更について

お客様のお好みで、番号を自由に変更できます。第三者による無断使用を防ぐため、お客様独自の番号に変更してください。
なお、3回連続してPIN1コードの入力を失敗すると自動的にロック（PINロック）されますので、設定した番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気をつけください。

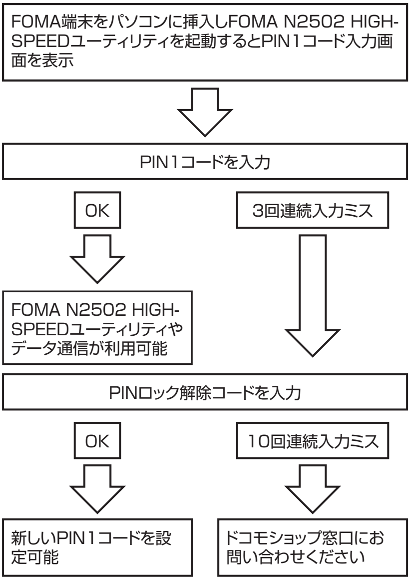
- PINコード入力設定／PIN1コード変更→『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書』P.41、42

■PINロック解除コードについて

PINロック解除コードは、PIN1コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。お客様ご自身では変更することができません。

なお、PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗するとFOMAカードがロックされますので、PINロック解除コードはメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気をつけください。

- PINロックを解除する→『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書』P.42



おしらせ

- 本FOMA端末では、PIN2コードを変更することができません。お客様のFOMAカードを、他のPIN2コードが変更可能なFOMA端末に差し込んで、PIN2コードの変更を行ってください。PIN2コードの変更方法については、変更に利用するFOMA端末の取扱説明書をご覧ください。

FOMAカードの機能差分について

FOMAカード（青色）は、FOMAカード（緑色／白色）とは次のように異なります。

機能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）
FirstPass	利用不可	利用可能※

※：本FOMA端末では、FirstPass利用時に必要なユーザ証明書を直接取得することができません。お客様のFOMAカードを他のFirstPass対応FOMA端末に差し込んで、ユーザ証明書の発行申請・ダウンロードなどを行っていただいた後、そのFOMAカードを本FOMA端末に差し込んでから利用することになります。ユーザ証明書の取得方法については、ユーザ証明書の取得に利用するFOMA端末の取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末から利用できる通信について

パケット通信と64Kデータ通信

パケット通信

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用して、受信最大7.2Mbps／送信最大384kbps（ベストエフォート方式）の速度でデータ通信を行うことができます。

- 最大7.2Mbps・最大384kbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。
- 実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
- アクセスポイントや電波状況によって通信速度は異なります。
- 付属のCD-ROMに収録されているFOMAバイトカウンタを利用して、パケット通信による送受信バイト数や利用金額の目安を確認することができます。(FOMAバイトカウンタはパソコン専用ソフトです。PDAには対応していません。)
- PDAでデータ通信（パケット）をご利用の場合、送受信ともに最大384kbpsとなります。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりませんので、ご注意ください。
- FOMAハイスピードエリア外または、FOMAハイスピードエリア内であってもmoperaなどHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続した場合は、送受信ともに最大384kbpsでの接続になります。

64Kデータ通信

データ量に関係なく、接続された時間に応じて通信料金が課金されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMA64Kデータ通信に対応した接続先を利用して、最大64kbpsの通信速度でデータを送受信できます。

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera」も利用できます。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、利用するインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」を利用できます。「mopera U」を利用する場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」を利用する場合は申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはFOMAパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDNの同期64K対応の接続先を利用してください。

- DoPaの接続先には接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらからお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

FirstPass対応サイトを利用するときのアクセス認証では、FirstPass（ユーザ証明書※）が必要です。付属のCD-ROMから「FirstPass PCソフト」をインストールし、設定を行ってください。詳しくはCD-ROM内「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual（PDF形式）」をご覧ください。ご覧になるには、Adobe® Reader®（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

※：本FOMA端末では、FirstPass利用時に必要なユーザ証明書を直接取得することができません。お客様のFOMAカードを他のFirstPass対応FOMA端末に差し込んで、ユーザ証明書の発行申請・ダウンロードなどを行っていただいた後、そのFOMAカードを本FOMA端末に差し込んでから利用することになります。ユーザ証明書の取得方法については、ユーザ証明書の取得に利用するFOMA端末の取扱説明書をご覧ください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要になります。ただし、条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪い場合は通信できないことがあります。

- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、アクセスポイントがFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

テレビ電話

接続している時間に応じて通信料金が課金されます。ドコモのテレビ電話に対応（「国際標準の3GPP※1で標準化された3G-324M※2」に準拠）した端末どうしで通話ができます。

※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）とは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体のことです。

※2：3G-324Mとは、第3世代携帯テレビ電話の国際規格のことです。

- 相手がドコモのテレビ電話に対応していない場合や、対応していても、圏外もしくは電源を切っている場合には接続できません。
- テレビ電話の通信速度には64K（64kbps）と32K（32kbps）がありますが、本FOMA端末では32Kのテレビ電話は利用できません。
- テレビ電話を利用するには、対応アプリケーションの他にUSB対応WEBカメラ、イヤホン、マイクなどの対応機器（市販品）が必要になります。
- イヤホン、マイクなどの対応機器は、パソコンのイヤホン端子、マイク端子に接続して利用します。

おしらせ

- テレビ電話の通信料金はデジタル通信料金となります。
- 対応アプリケーション、対応機器の使いかたなど詳しくは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。ドコモテレビ電話ソフト サポートホームページからダウンロードしてご利用ください。なお、パソコンでのご利用環境など詳細については、ドコモテレビ電話ソフト サポートホームページでご確認ください。
http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

FOMA端末をパソコンに接続する

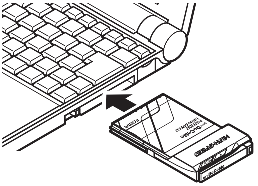
接続のしかた

はじめてFOMA端末をパソコンに接続するときは、あらかじめ通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする必要があります。通信設定ファイル（ドライバ）のインストールについては、「通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする」（P.26）をご参照ください。

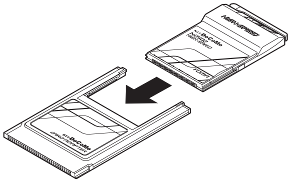
1 パソコンの電源を入れる

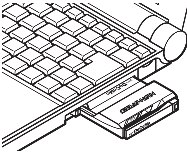
2 FOMA端末のラベル面を上にして、パソコンのCFカードスロット、もしくは付属のPCカードアダプタを取り付けてPCカードスロットへまっすぐ差し込む

■ CFカードスロットに差し込む場合



■ PCカードスロットに差し込む場合





- CFカードスロットやPCカードスロットの位置、挿入方向はパソコンによって異なります。
- CFカードスロットやPCカードスロットの奥までしっかりと差し込んでください。
- パソコンによってはCFカードスロットやPCカードスロットに差し込みづらい場合があります。

次ページにつづく

❸ デスクトップ上のタスクトレイのアイコンをクリックする

■ Windows Vistaの場合

■ Windows XPの場合

■ Windows 2000の場合

- 「FOMA N2502 HIGH-SPEEDを安全に取り外します」などと表示されていれば、FOMA端末は正しく認識されています。
- しばらくしても表示されない場合は、パソコンの電源を切り、接続を確認してからもう一度やり直してください。

おしらせ

- FOMA端末をパソコンに差したまま、休止／スタンバイ状態などにしたときは、FOMA端末をパソコンから取り外さないでください。
- 移動するとき、またご利用にならないときはFOMA端末をパソコンから取り外し、FOMA N2502 HIGH-SPEED専用ケースに入れて持ち運んでください。
- FOMA端末をパソコンに差し込んだまま、露出部分を強く握ったりしないでください。けがや故障、破損などの原因になります。
- バッテリ駆動でパソコンをお使いになる場合は、バッテリの残量にご注意ください。バッテリが不足した状態で利用すると、FOMA端末の動作が不安定になります。

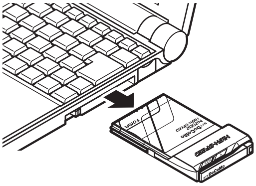
取り外しかた

通信回線が切断されていることを確認してください。

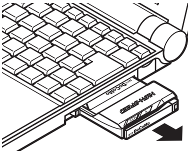
❶ タスクトレイアイコンをクリック→「FOMA N2502 HIGH-SPEEDを安全に取り外します」などの表示をクリックする

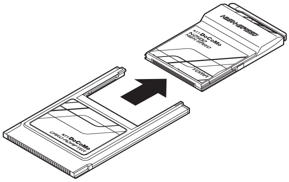
❷ PCカードを取り外せる内容のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンから取り外す

■ CFカードスロットから取り外す場合



■ PCカードスロットから取り外す場合





- イジェクトレバーを押すなど、ご利用のパソコンの取扱説明書の指示に従って取り外してください。
- FOMA端末の金属部分が熱くなっている場合がありますので、アンテナ部の側面付近を持って取り外してください。パソコンによってはCFカードスロットやPCカードスロットから取り外しづらい場合があります。

おしらせ

- 取り外したFOMA端末は、FOMA N2502 HIGH-SPEED専用ケースに入れて保管してください。
- 取り外したFOMA端末は、すぐに再び取り付けた場合、認識されないことがあります。3秒ほど待ってから取り付けてください。認識されなかった場合は、一度取り外してから、再び取り付けてください。

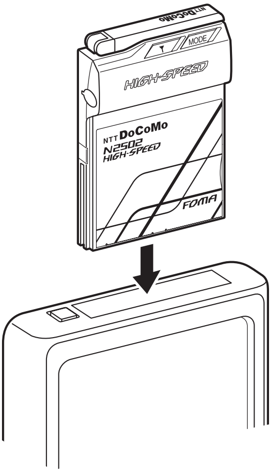
FOMA端末をPDAに接続する

接続のしかた

はじめてFOMA端末をPDAに接続するときは、あらかじめ通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする必要があります。通信設定ファイル（ドライバ）のインストールについては、「PDAで通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする」（P.31）をご参照ください。

1 PDAの電源を入れる

2 FOMA端末の表・裏を確認して、PDAのCFカードスロットへまっすぐ差し込む



- CFカードスロットの位置、挿入方向はPDAによって異なります。
- CFカードスロットの奥までしっかりと差し込んでください。
- PDAによってはCFカードスロットに差し込みづらい場合があります。
- PDAの使用方法など詳細は、PDAの取扱説明書をご覧ください。

取り外しかた

通信回線が切断されていることを確認した上で、PDAの取扱説明書に従って取り外してください。